

編集後記

2002年3月の常任幹事会において編集委員長の任を岡田泰伸先生が継いで下さることになり、私がこの編集後記を書くのも今回が最後になります。1993年4月に酒井敏夫先生からこの仕事を引き継いで以来、9年間日生誌を担当してまいりました。その間に原稿をお寄せくださるなどご協力をいただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。やや長すぎた感のある任期でしたが、この間どうしたら日生誌を会員の皆様に役立つメディアにすることが出来るかを委員会のメンバーの方々と考えてまいりました。教育委員会のご協力もあっていくつかの実験法講座を連載することも出来ました。ちょうど各大学にネットワークが導入された時期とも一致しましたので、生理学会のWebpageを立ち上げることも出来ました。当初は一カ月のアクセスがわずかに数百件でしたが、現在では一月4,000件を超えることもあり、約3,500人の会員数を考えると新しいメディアが有効に利用されていることを示している数字だと思います。生理学会Webpageの維持に尽力された編集委員には特に感謝したいと思います。

各大学においても積極的に電子ジャーナルの導入が行われ、私も昔のように図書館へ足を運ぶこ

とが少なくなりました。紙媒体の存在意義すら問われる時代になっています。このような時流の中で日生誌の発行による学会の財政的な負担を軽減すべくさまざまな取り組みもいたしました。また、発行の時期を遅らせないように常に心がけては参りましたが、こちらの方は合格点をいただけそうにありません。この点につきましてはお詫びをしながらはなりません。

今年の春から生理学会の会則が変わり、常任幹事に任期が導入されました。その結果、常任幹事が若返り、各委員会の委員長も大幅に交代されました。このような新しいメンバーによる生理学会の運営はいま始まったばかりですが、その活躍を大いに期待したいと思います。しかし、学会の活性化にもっとも必要なのは会員一人一人の参加意識ではないでしょうか。学会に対しても、日生誌やWebpageに対してもどしどし注文をつけてください。そのような会員の意見が学会を動かし、情報メディアを良くする原動力だからです。長い間会員各位からいただきましたご支援、ご協力に感謝して退任の挨拶といたします。

(金子章道)

編集委員

*編集執行委員

*金子 章道 (編集幹事) (感覚)
小野田法彦 (感覚)
*工藤 典雄 (運動, 発生・成長・老化)
黒島 晟汎 (環境)
佐久間康夫 (生殖)
高田 明和 (血液)
*高松 研 (神経化学)
*入來 篤史 (感覚, 運動, 高次中枢)
辻岡 克彦 (循環)
村上 政隆 (膜輸送)
小山 なつ (HP担当)

青木 藩 (呼吸)
河南 洋 (自律神経, 内分泌)
窪田 隆裕 (腎・体液)
*小西 真人 (筋)
*佐々木成人 (運動)
菅屋 潤壹 (栄養・代謝・体温)
土居 勝彦 (心臓・循環)
成瀬 達 (消化・吸収)
*川上 順子 (感覚)
福田 淳 (感覚, 高次中枢)
吉岡 利忠 (体力)

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603 (勤務時間10：30～18：30)
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/